

長久手市行政評価票 (S票：施策評価票)

施策番号	S4	施策名	文化の家(管理)の見直し
担当部課	くらし文化部生涯学習課	関係部課	

基本情報	第6次総合計画・基本目標	5 いつでも どこでも 誰とでも 広がる交流の輪
	行政改革指針・重点課題	1 経営改革の推進
	法定受託事務の有無	無
	その他(関係計画、要綱等)	有 第3次長久手市文化芸術マスタープラン
施策開始の背景、経緯等	文化の家は、芸術文化の振興及び市民福祉の向上を図り、文化活動の拠点となるべく平成10年に開館し、直営で運営。行政改革の一環として、より良い公共文化施設の運営のため、管理の見直しを検討する。	

施策の目的等	施策の内容	(どのような施策なのか) 指定管理制度の導入を前提に、さらなる外部委託を含めた調査、検討を行い、方針を決定した上で、新たな方策による管理を実施する。
	施策の対象	(誰、何を対象にしているか) 文化の家の管理体制
	施策の意図	(対象をどのような状態にしたいか) 管理系の職員の再配置を行う。

目標・成果推移等①	施策に係る取組①									
	管理体制の見直しの検討									
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	<ul style="list-style-type: none"> 直営管理とする方針決定 委託業務の拡充 チケットのネット予約 使用料の改定 建物抗菌コーティング 		<ul style="list-style-type: none"> 委託業務の拡充 インターネット施設予約 チケットのコンビニ収納 システムによる省力化 職員負担の削減 		<ul style="list-style-type: none"> 委託業務の拡充 システムによる省力化 		未定		未定	
	費用・実績(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)	
	施設管理業務委託	89,057千円	施設管理業務委託	88,842千円	未定	未定	未定	未定	未定	未定
	舞台管理業務委託	29,731千円	舞台管理業務委託	36,912千円						
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人	(延べ)	— 人

目標・成果推移等②	施策に係る取組②									
	R3年度(2021)		R4年度(2022)		R5年度(2023)		中期(おおよそ3年後)		長期(おおよそ5年後)	
	成果・実績		成果・目標		成果・目標		成果・目標		成果・目標	
	費用・実績(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)		費用・見込み(細々節名) (金額)	
	市民参加数・実績		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み		市民参加数・見込み	
	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人	(延べ)	人

活動状況	活動エピソード	(活動のエピソード、コメント、特記事項など) 指定管理者が運営する施設の視察や、指定管理者制度を導入した公立文化施設のあり方、文化芸術と福祉連携、地域連携を含めた文化政策のあり方について講座を通して研究するとともに、これまで行ってきた指定管理者制度の調査を経て検討した。これらを踏まえ、行政改革推進本部会議で文化の家の施設管理方針は長久手市文化芸術マスタープランに添った運営方針とし、直営管理としていくことを決定した。
------	---------	--

改善状況	改善ポイント	(何をどのような状態に改善したのか、改善が必要なことなど) 委託化を拡充し、チケットや施設予約のシステム化を推進し、利便性の向上、省力化を図った。コロナ禍、補助金を活用し施設の抗菌コーティングを施工し、清掃業務の軽減を図りつつ、安心安全な施設利用に努め、高い稼働率を維持した。収支バランスの改善に向け、施設使用料、備品使用料の改定を行った。
評価	評価・課題	(進捗状況や課題など) 令和3年度は、指定管理者制度の調査を経て、管理の見直しを検討し、文化の家の施設管理は長久手市文化芸術マスタープランに添った運営方針とし、直営管理としていくことを決定した。今後は、この方針のもと、委託化、システム化の強化により省力化を図り、必要最小限の市職員による直営管理を行う。
費用対効果	施策の意図に係る費用対効果の分析	(施策の意図に係る費用対効果の分析、検討、研究の状況など) 研究した結果、財団系の指定管理では、市直営と同等以上の財源を必要とし、収益性を重視する営利企業では、コスト削減によるサービスの低下が見受けられる。地域連携を含めた文化政策を行う文化の家においては、費用対効果の面からも、委託事業を拡大した直営管理の方が、効果が高いと判断した。
今後	今後の方向性、改善点	(施策を実施するにあたって今後の方向性、改善点など) ・令和4年度は、舞台管理等の専門的な業務などの委託を拡大し、職員の負担を削減する(民間活力の活用)。 ・施設のネット予約、チケットのコンビニ収納を開始し、利用者の利便性向上、業務の省力化、申請用紙の削減を図る。 ・決定した方針のもと、委託事業を拡大し、必要最小限の市職員による直営管理を行う。
内部意見	総合計画担当、財政担当、行政改革担当	・現在の財政状況では、文化の家規模の施設の維持管理は大きな財政負担となっています。今後、施設の大規模な改修を行う際には、現在の施設の機能を維持していくのかを含め、検討を行ってください。
内部意見への回答		